

公益社団法人 地盤工学会
出版企画委員会
議事録

平成24年度 第2回

日 時：平成24年6月1日（金）13：00～16：00			会 場：地盤工学会3階中会議室		
委員長 荒瀬 義則	○	幹事長 楡井 一昭	○	幹 事 橋 伸也	×
幹 事 仲山 貴司	○	委 員 土屋 光弘	○	委 員 細野 康代	×
委 員 山木 正彦	×	委 員 深田 久	○	委 員 福村 一成	○
委 員 小川 鉄平	×	委 員 和田 健一	×	委 員 森口 周二	×
委 員 杉本 映湖	○	委 員 中井 宏	○	委 員 小川 和也	○
委 員 森 淳子	○	委 員 渡邊 康司	×		
ワザハバー 李 圭太	×	ワザハバー 清木 隆文	×	ワザハバー 川井 康右	×
ワザハバー 高橋 直樹	×	ワザハバー 岩波 基	×		
事務局 永田 満枝	○				

《報告・確認事項》

1. 議事録担当者……(別紙-1)

○杉本が指名された。

2. 前回議事録(4/17)の確認……(別紙-2)

○承認された

3. 前回事業部会(4/19)報告……(別紙-3)

○荒瀬委員長より報告された。主な内容は以下の通り。

- ・「杭基礎のトラブルとその対策改訂版」について、趣意書が承認された。
- ・出版企画委員会および技術普及委員会に、当面の間、情報共有のため、それぞれの委員会に代表者が他方の委員会にも出席することとなった。

4. 理事会(4/27・5/14)報告……(別紙-4)

○荒瀬委員長より報告された。主な内容は以下の通り。

平成24年4月27日(書面会議)

- ・来年度の研究発表会は7/23～25に富山で開催される。
- ・「杭基礎のトラブルとその対策改訂版」の出版が承認可決された。また、編集委員会には「地中連続壁基礎協会」から、委員を呼んではどうか、との意見があった。

平成24年5月14日

- ・地盤品質判定士(仮称)について、6月中に関係学会に呼びかけ、7月に設立準備会を立ち上げたい(企画部)。

5. 事業部関係収支報告……(別紙-5)

○永田事務局より平成24年4月末までの出版事業の実績と在庫数の状況等について説明された。主な内容は以下の通り。

- ・4月の売上が昨年度と比較して落ちている。
- ・「77都市の地盤」は200部増刷し、そのうち150部を地盤工学会で買い取る。
- ・返品本のうち、表紙やけや破れなど、状態の悪いものは販売できない。破棄するか、改訂の委員会に寄贈するか、など、扱いについて検討が必要である。
- ・在庫の表に売上也記載する。

6. 各編集委員会および出版作業進捗状況、講習会開催報告……(別紙-6)(添付資料-1)

- 永田事務局より、出版作業進捗状況について説明された。主な内容は以下の通り。
- ①実務シリーズ「河川構造物の調査・設計から施工まで」
→6月中旬に提出予定の出版計画書を委員会内でメール審議の上、理事会に報告する。
 - ②実務シリーズ「地盤改良の調査設計から施工まで」
→6/22 編集委員会にて、第1稿の原稿確認予定、2013年3月出版予定。
 - ③入門シリーズ「地盤工学における性能設計入門」
→11月に講習会を予定しており、その広報のため6月中に出版したい。
 - ④ジオテクノート「現場における地盤調査法の基本」
→5/11 準備委員会において担当、執筆者決定、6月に編集委員会開催予定、2013年4月出版予定。
 - ⑤トラブルと対策シリーズ「杭基礎のトラブルとその対策」
→計画書があげられている。
 - ⑥「新指針に対応した・・・」
→西垣先生と協議の上、計画書をなるべく早く作成する。
 - ⑦「役立つ地盤リスク・・・」
→作業は順調に進んでおり、次回編集委員会は8月に開催。
 - ⑧「落石対策Q&A」
→趣意書があげられている。
 - ⑨「地盤に関する解析技術」
→9月の土木学会との会議で、どういう形態で出版するか調整を図る。
 - ⑩「地盤のはなし」
→進捗状況の一覧表から外すが、公益法人化に伴い、今後、一般向けの出版企画を積極的に考えたい。
 - ⑪「子供向けの本」
→総務部広報委員会にてリーフレット作成が進められている。

7. その他

(1) セット de お得の実施について……(添付資料-2)

○仲山幹事より、セット de お得の実績等が説明された。主な内容は以下の通り。

- ・売上冊数はセット de お得による実績が大きい、売上では一般販売による実績が大きい。
- ・よく売れる本も3年経過した時点でセットに含めるか、検討が必要。
- ・セット販売および一般販売の両方について、販売促進のための工夫が必要。
- ・次回委員会までに、販売促進案をWGで検討する。

(2) 電子書籍について……(別紙-7)

○杉本より、電子出版の現状など説明された。主な内容は以下の通り。

- ・古い出版物については、著者に電子出版の許諾をもらうことに困難が伴う。
- ・電子出版の実施の有無にかかわらず、今後は電子媒体での出版についても契約時に明記すべき。
- ・次回の委員会開始前に、1時間程度、電子出版に関する説明やデモの実施を丸善に依頼する。

(3) 各団体の著作権について……(別紙-8)

○福村委員より説明された。主な内容は以下の通り。

- ・建築学会が各学協会に著作権についての扱いをヒアリングしてまとめたメモが示された。ほとんどの学協会では著作権は「学会に帰属」という扱いである。
- ・地盤工学会の出版物について、著作権の状況を本ごと、著者ごとに調査し、整理する。

《審議事項》

1. 新企画出版趣意書および出版計画書について……(別紙-9)

①「落石対策工の設計法と計算例」

→趣意書にはA5版での出版を計画しているが、実務シリーズにする場合はA4版にする必要があることを編集委員会に説明する。

②「杭基礎のトラブルとその対策」

→平成26年3月出版予定。「地中連続壁基礎協会」から委員を呼ぶことや、女性委員の登用などを助言する。

③「DEM講習会資料の書籍化」

→土木学会と9月に協議予定

2. 増刷本の冊数について……(別紙-10)

- ・ 今後は増刷本についても川井式で冊数を検討する。
- ・ 残部が少ない「杭基礎のトラブルとその対策」は200部増刷、「FEM2」「地盤・耐震工学入門」の2冊については増刷冊数を川井式で算出の上、メール審議する。

3. その他

- ・ 平成24年度から参画の小川和也委員、森委員、渡邊委員は出版企画WGの担当をお願いする。

次回委員会開催日：平成24年8月3日（金）14：00～17：00 地盤工学会地階A会議室
(13:00 から、丸善による電子出版説明会およびデモを予定)

以上